

利用者のために

- 1 本書は昭和61年（または昭和61年度）の資料を中心に編集したのですが、多くの統計資料については利用者の便宜をはかるため昭和52年前後まで、またとくに必要なものについてはそれ以前にまでさかのぼって収録しました。
- 2 資料は、官公庁・民間団体ならびに庁内各局からの報告によるもの、または本市において直接調査収集したものです。
- 3 資料の出所名は、各表の下部に掲げ、報告書などによるものは、その書名を付記してあります。
- 4 資料は、ほとんど仙台市域を区域としていますが、「労働」、「災害・治安」、「電気・ガス・上水道」などについては、一部市域外を含むものもあります。その場合は頭注にその旨掲載してありますから利用にあたっては特に注意してください。また、宮城総合支所（＝旧宮城町・昭和62年11月1日合併）分は（ ）で外数として、収集可能な範囲で最新の資料（大部分は総数のみ）を別掲載し、62年版では仙台市への組替えは行なっていない。その資料の出所が旧宮城町のものについては出所名を省略しました。
- 5 資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義がある場合などは、本市調査統計課、あるいは各資料出所機関に照会してください。
- 6 統計表の一般的説明は必要に応じて頭注を付し、数字の単位については各表上部左端に注記しましたが、一見して明らかなものは省略しました。なお、数字の単位未満については、四捨五入、あるいは切捨てである箇所もあるので、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 7 「都市統計協議会」の会員都市および東京都区部、指定都市を含む人口50万人以上の都市の主要事項については巻末に一括して掲げてあります。
- 8 「地方集計結果」とは、本市または県において独自集計したもので概数です。したがって後日公表される国の結果（確定数）と若干相違する場合があります。
- 9 統計表中「年」とあるのは暦年、「年度」とあるのは4月から翌年3月までの期間を示し、また「何年・月末」「何月何日」とあるのはそれぞれの現在日を示します。
- 10 統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」……………単位未満

「-」……………該当数字なし

「…」……………不詳

「x」……………該当数字はあるが、発表に
さしつかえのあるもの。

「r」……………訂正数字

「P」……………概数